

令和5年9月16日
豊岡市商工会

豊岡市商工会管内企業動向調査結果

(令和5年7月～9月期実績、令和5年10月～12月期見通し)

《1》 調査時点 令和5年9月5日

《2》 調査対象

調査依頼先
150企業

有効回答数
144企業 (回答率96%)

業種	企業数	城崎		竹野		日高		出石		但東		回答数
		対象	回答									
製造業	27	2	2	3	2	10	10	8	8	4	3	25
建設業	26	2	2	3	3	13	12	5	5	3	3	25
小売業	33	9	9	2	2	11	10	9	8	2	2	31
飲食業	22	7	7	2	2	6	6	6	6	1	1	22
宿泊業	20	8	7	5	5	7	7	0	0	0	0	19
サービス業	22	2	2	2	2	12	12	3	3	3	3	22
合計	150	30	29	17	16	59	57	31	30	13	12	144

《3》 調査項目

- ①売上高 ②仕入単価 ③採算性 ④資金繰り ⑤景況感
⑥従業員の人数 ⑦直面している経営上の問題 ⑧今後取り組んでいきたいこと
⑨原材料の不足や高騰の影響 ⑩その具体的な内容

【令和5年7～9月期実績】

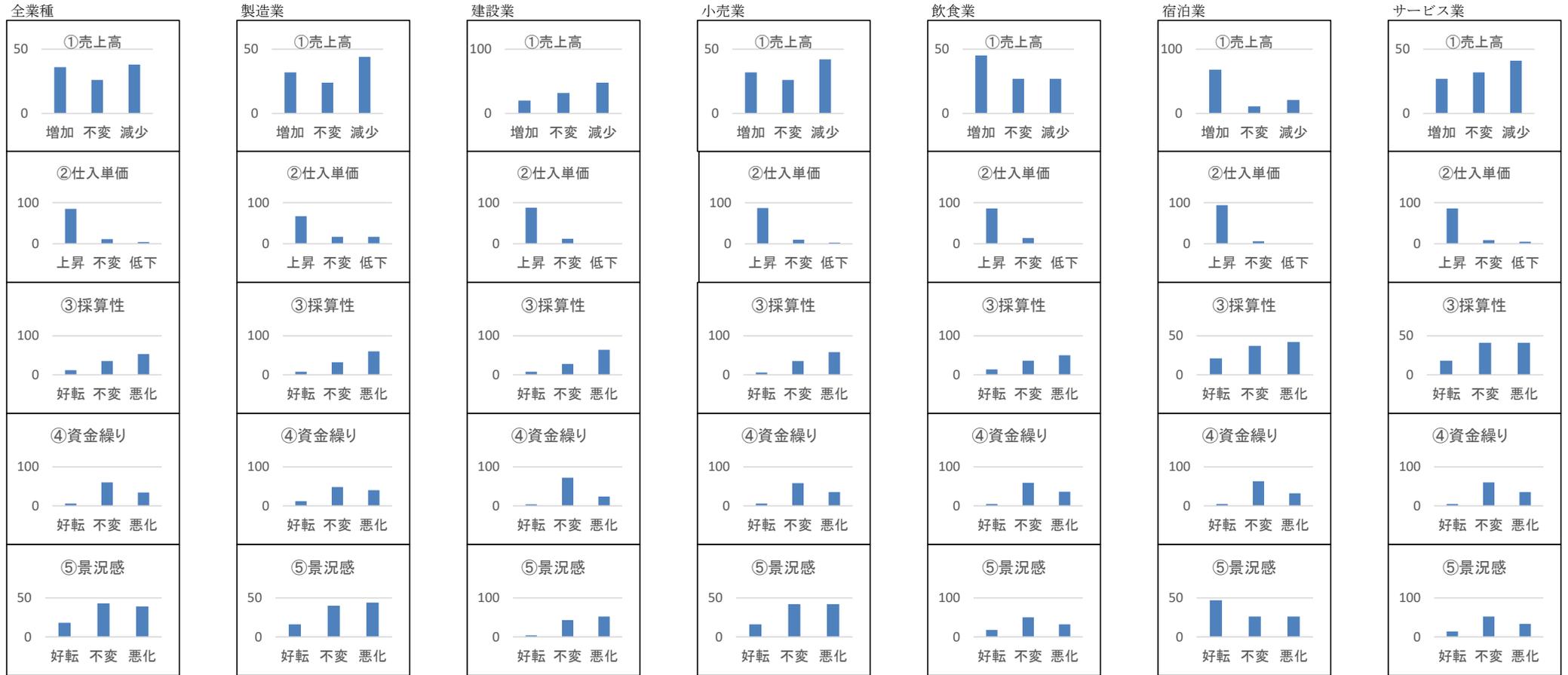
(1)	全業種の売上高DIは、(前期▲5→) ▲1 (前期比4ポイント増) となり、マイナス幅が縮小した。
	業種別売上高DIは、小売業、飲食業、宿泊業では上昇し、製造業、建設業、サービス業では減少した。
(2)	全業種の仕入単価DIは、77 (前期72) とやや上昇した。
	業種別仕入単価DIは、建設業、小売業、飲食業、宿泊業、サービス業では上昇し、製造業では減少した。
(3)	全業種の採算性DIは、(前期▲39→) ▲37 (前期比2ポイント増) となり、マイナス幅がやや縮小した。
	業種別採算性DIは、製造業、飲食業、宿泊業では上昇し、建設業、小売業、サービス業では減少した。
(4)	全業種の資金繰りDIは、(前期▲24→) ▲23 (前期比1ポイント増) となりマイナス幅がやや縮小した。
	業種別資金繰りDIは、製造業、建設業、宿泊業では上昇し、小売業、飲食業、サービス業では減少した。
(5)	全業種の景況感DIは、(前期▲15→) ▲20 (前期比5ポイント減少) となり悪化傾向となった。
	業種別の景況感DIは、宿泊業のみ大幅に上昇し、その他のすべての業種では減少となった。

【令和5年10～12月期の見通し】

(1)	全業種の売上高DIは、▲12となり11ポイントマイナス幅が縮小する見通し。(悪化)
	業種別売上高DIは、製造業、サービス業が上昇し、建設業、飲食業、宿泊業で減少する見通し。小売業は横ばい。
(2)	全業種の仕入単価DIは、75となり、ほぼ横ばいとなる見通し。(やや悪化)
	業種別仕入単価DIは、建設業、小売業、飲食業が上昇し、宿泊業、サービス業で減少の見通し。製造業は横ばい。
(3)	全業種の採算単価DIは、▲33となり4ポイントマイナス幅が縮小する見通し。(好転)
	業種別採算性DIは、建設業、飲食業、宿泊業、サービス業が上昇し、製造業、小売業は減少する見通し。
(4)	全業種の資金繰りDIは、▲29となり6ポイントマイナス幅が拡大する見通し。(悪化)
	業種別の資金繰りDIは、飲食業が上昇し、製造業、建設業、小売業、宿泊業が減少する見通し。サービス業は横ばい。
(5)	全業種の景況感DIは、▲20となり横ばいとなる見通し。
	業種別の景況感DIは、製造業、小売業、サービス業が上昇し、飲食業、宿泊業が減少する見通し。建設業は横ばい。

【1】前年同期比

前年同期（令和4年7月～9月）と比べた今期（令和5年7月～9月）の状況



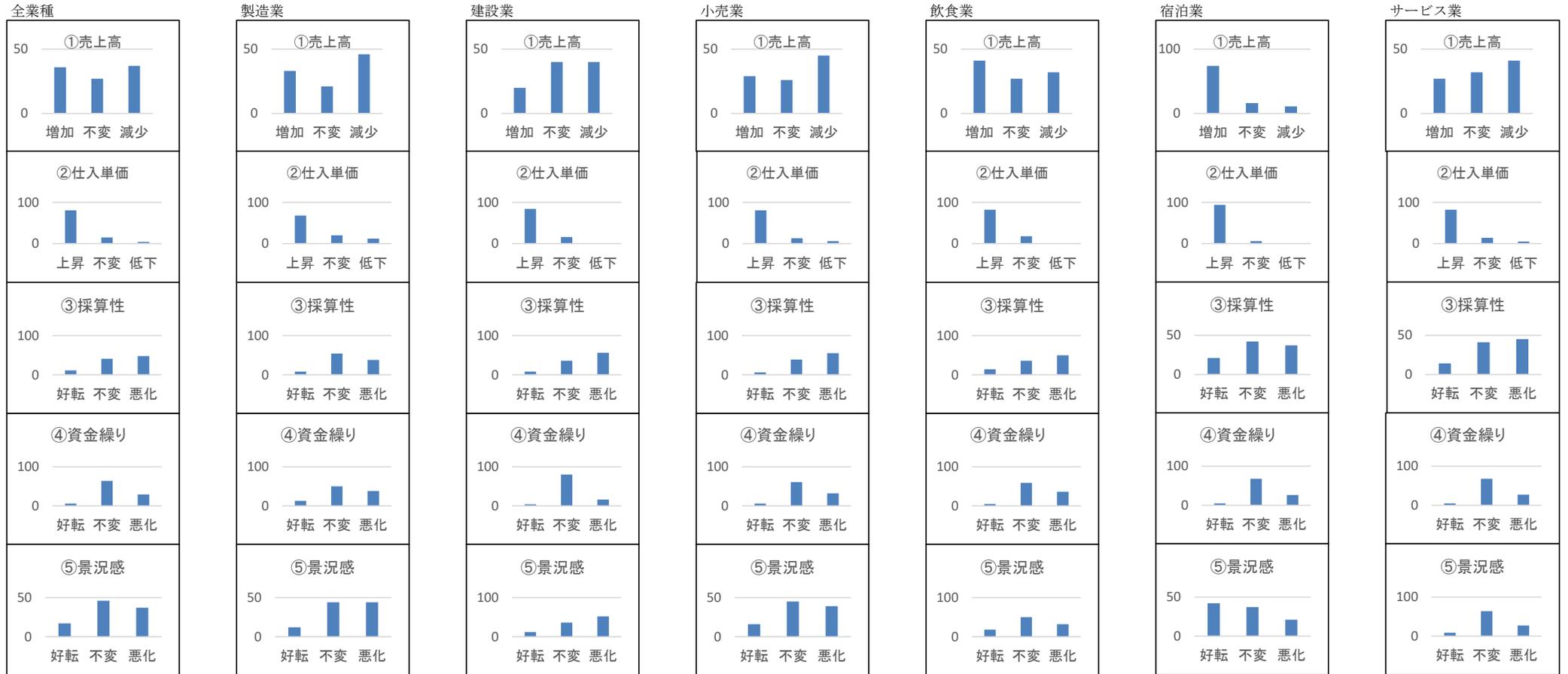
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 2	▲ 12	▲ 28	▲ 10	18	47	▲ 14
仕入単価	81	50	88	84	86	94	81
採算性	▲ 41	▲ 52	▲ 56	▲ 52	▲ 36	▲ 21	▲ 23
資金繰り	▲ 28	▲ 28	▲ 20	▲ 29	▲ 31	▲ 27	▲ 30
景況感	▲ 21	▲ 28	▲ 48	▲ 26	▲ 14	21	▲ 19

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【2】前期比

前期（令和5年4月～6月）と比べた今期（令和5年7月～9月）の状況



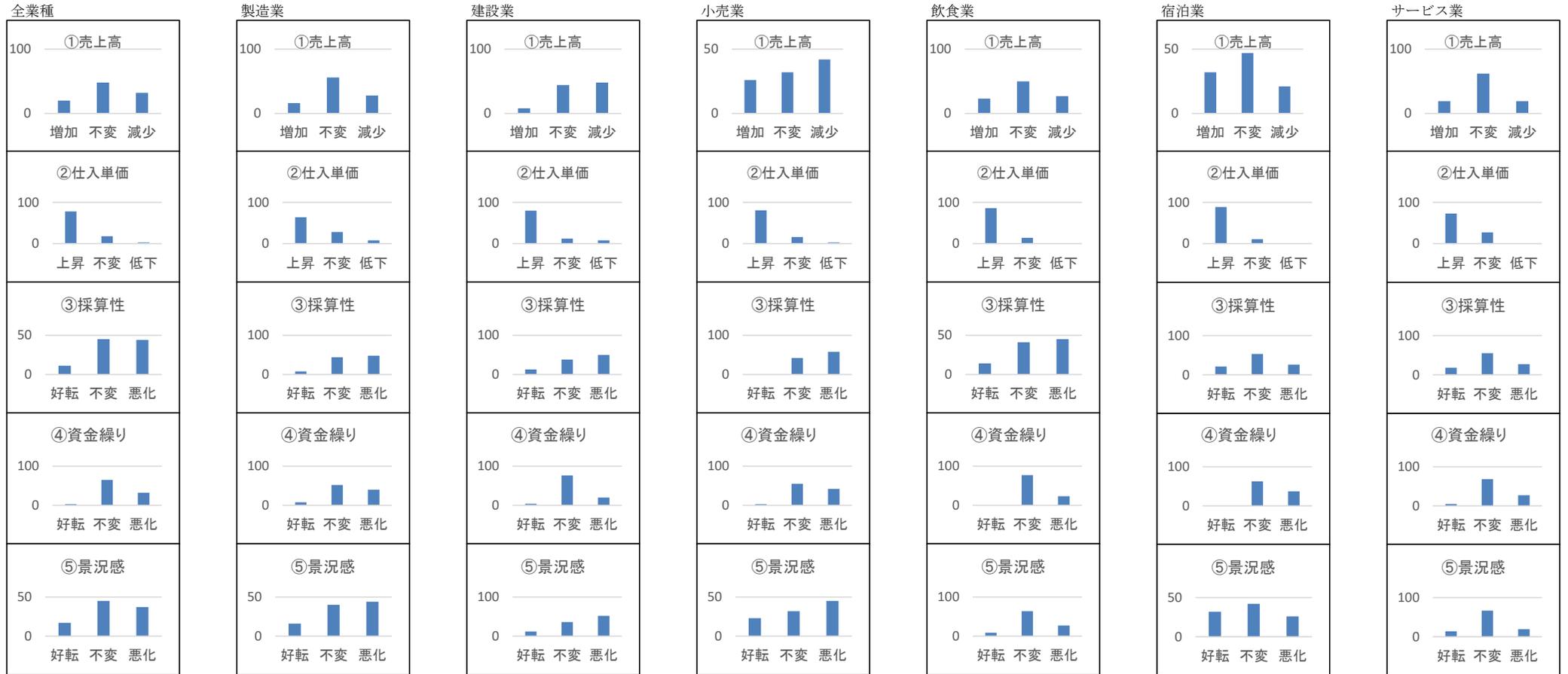
【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲ 1	▲ 13	▲ 20	▲ 16	9	63	▲ 14
仕入単価	77	56	84	75	82	94	77
採算性	▲ 37	▲ 30	▲ 48	▲ 49	▲ 36	▲ 16	▲ 31
資金繰り	▲ 23	▲ 25	▲ 12	▲ 26	▲ 31	▲ 21	▲ 22
景況感	▲ 20	▲ 32	▲ 40	▲ 23	▲ 14	21	▲ 18

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【3】来期の見通し

今期（令和5年7月～9月）と比べた来期（令和5年10月～12月）の見通し

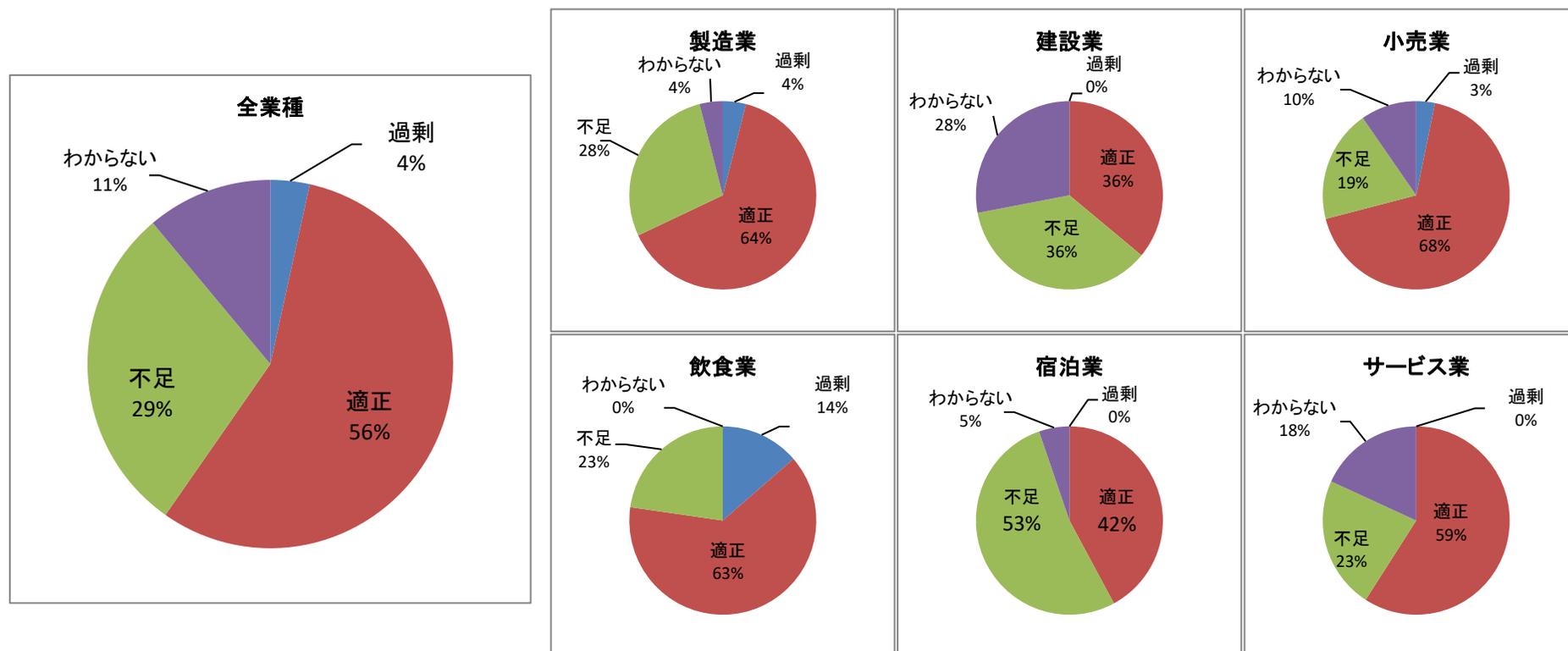


【全業種・業種別D I】

	全業種	製造業	建設業	小売業	飲食業	宿泊業	サービス業
売上高	▲12	▲12	▲40	▲16	▲4	11	0
仕入単価	75	56	72	78	86	89	73
採算性	▲33	▲40	▲37	▲58	▲31	▲5	▲9
資金繰り	▲29	▲32	▲16	▲39	▲23	▲37	▲22
景況感	▲20	▲28	▲40	▲22	▲18	6	▲5

(注) 売上D Iは「増加」企業割合－「減少」企業割合
 仕入単価D Iは「上昇」企業割合－「低下」企業割合
 採算性D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 資金繰りD Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合
 景況感D Iは「好転」企業割合－「悪化」企業割合

【4】従業員（臨時・パート含む）の人数について



今期（R5.7～9月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
過剰	5	3.5%	1	4.0%	0	0.0%	1	3.2%	3	13.6%	0	0.0%	0	0.0%
適正	81	56.3%	16	64.0%	9	36.0%	21	67.7%	14	63.6%	8	42.1%	13	59.1%
不足	42	29.2%	7	28.0%	9	36.0%	6	19.4%	5	22.7%	10	52.6%	5	22.7%
わからない	16	11.1%	1	4.0%	7	28.0%	3	9.7%	0	0.0%	1	5.3%	4	18.2%
合計	144		25		25		31		22		19		22	

対前期比（R 5. 4～6月）

⑥従業員の数（件数）	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減												
過剰	3.5%	0.0	7.4%	-3.4	0.0%	0.0	3.3%	-0.1	9.1%	4.5	0.0%	0.0	0.0%	0.0
適正	56.6%	-0.3	70.4%	-6.4	45.8%	-9.8	56.7%	11.0	63.6%	0.0	36.8%	5.3	61.9%	-2.8
不足	30.8%	-1.6	18.5%	9.5	41.7%	-5.7	26.7%	-7.3	27.3%	-4.6	57.9%	-5.3	19.0%	3.7
わからない	9.1%	2.0	3.7%	0.3	12.5%	15.5	13.3%	-3.6	0.0%	0.0	5.3%	0.0	19.0%	-0.8

【実績】

全業種で見ると、従業員の数に「適正」と回答した経営者が最も多く全体の56.3%を占める。次いで「不足」と回答した経営者は、29.2%である。対前期比では大きな変化は無く、「適正」が0.3ポイント減、「不足」は1.6ポイント減、という結果となった。

（製造業）「適正」と回答した経営者が64.0%と最も多いが、「不足」が対前期比9.5ポイント増加。

（建設業）「適正」と回答した経営者が36.0%、対前期比9.8ポイント減少。

「不足」と回答した経営者が36.0%（対前期比5.7ポイント減）となり、全業種において宿泊業に次ぐ高い割合で「不足」と回答された業種となった。

（小売業）「適正」と回答した経営者が67.7%と全業種においても最も多い。（対前期比11.0ポイント増加）

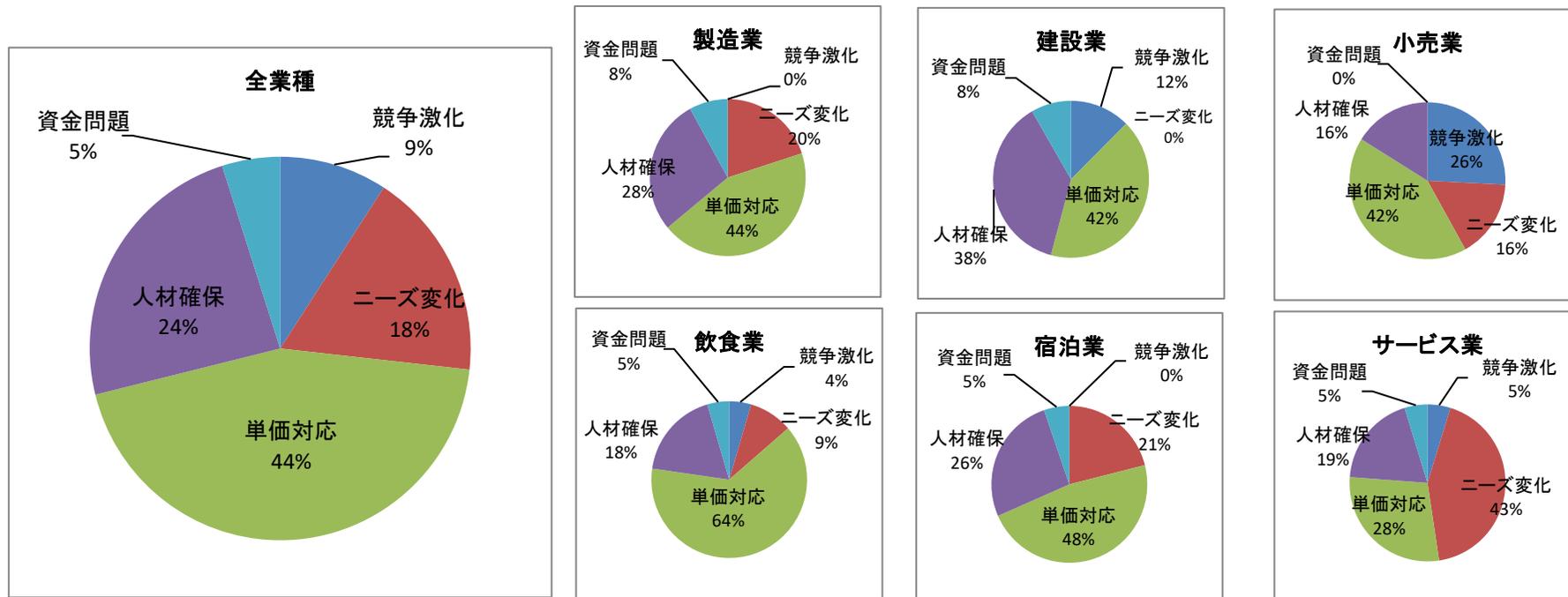
（飲食業）「適正」と回答した経営者が63.6%と最も多い割合となった。（対前期比変化無し）

一方で「過剰」と回答した経営者が13.6%と多くはないが、対前期比4.5ポイント増加し、二期連続での増加となった。

（宿泊業）「不足」と回答した経営者が52.6%（対前期比5.3ポイント減）となり、全業種において最も高い割合で「不足」と回答された業種となった。

（サービス業）「適正」と回答した経営者が59.1%（対前期比2.9ポイント減）と最も多かった。全体的に前期と比べ大きな変化はない。

【5】直面している経営上の問題点について



今期（R5.7～9）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率											
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	13	9.2%	0	0.0%	3	12.5%	8	25.8%	1	4.5%	0	0.0%	1	4.8%	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	25	17.6%	5	20.0%	0	0.0%	5	16.1%	2	9.1%	4	21.1%	9	42.9%	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	63	44.4%	11	44.0%	10	41.7%	13	41.9%	14	63.6%	9	47.4%	6	28.6%	単価対応
必要な人材の雇用確保	34	23.9%	7	28.0%	9	37.5%	5	16.1%	4	18.2%	5	26.3%	4	19.0%	人材確保
事業資金の借入難	7	4.9%	2	8.0%	2	8.3%	0	0.0%	1	4.5%	1	5.3%	1	4.8%	資金問題
合計	142		25		24		31		22		19		21		

対前期比（R5.4～6）

⑦直面している経営上の問題点	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
大手企業（大型店）進出、インターネット普及による販売競争の激化	7.7%	1.5	3.7%	-3.7	8.3%	4.2	20.0%	5.8	0.0%	4.5	0.0%	0.0	10.0%	-5.2	競争激化
消費者（製品）ニーズ変化への対応	19.0%	-1.4	18.5%	1.5	8.3%	-8.3	26.7%	-10.6	9.1%	0.0	21.1%	0.0	30.0%	12.9	ニーズ変化
仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下	45.8%	-1.4	48.1%	-4.1	37.5%	4.2	33.3%	8.6	72.7%	-9.1	47.4%	0.0	40.0%	-11.4	単価対応
必要な人材の雇用確保	25.4%	-1.5	25.9%	2.1	45.8%	-8.3	20.0%	-3.9	13.6%	4.6	31.6%	-5.3	15.0%	4.0	人材確保
事業資金の借入難	2.1%	2.8	3.7%	4.3	0.0%	8.3	0.0%	0.0	4.5%	0.0	0.0%	5.3	5.0%	-0.2	資金問題

【実績】

全業種で見ると「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」を認識する経営者が最も多く44.4%の割合となった。次いで「必要な人材の雇用確保」、「消費者（製品）ニーズ変化への対応」となり、対前期比では大きな変化はないが、「事業資金の借入難」が2.8ポイント増加した。

（製造業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が44.0%となり、8期連続で最も多いが、対前期比ではやや減少した。

次いで「必要な人材の雇用確保」が25.9%、「消費者（製品）ニーズの変化への対応」が20.0%であった。

（建設業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が41.7%と前期同様最も多い。

「必要な人材の雇用確保」が37.5%、「消費者（製品）ニーズ変化への対応」が0.0%と、どちらも対前期比8.3ポイント減少となった。

（小売業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が41.9%となり、6期連続で最も多い。（対前期比8.6ポイント増）

「消費者（製品）ニーズ変化への対応」では対前期比10.6ポイント減と大幅に減少し、16.1%となった。

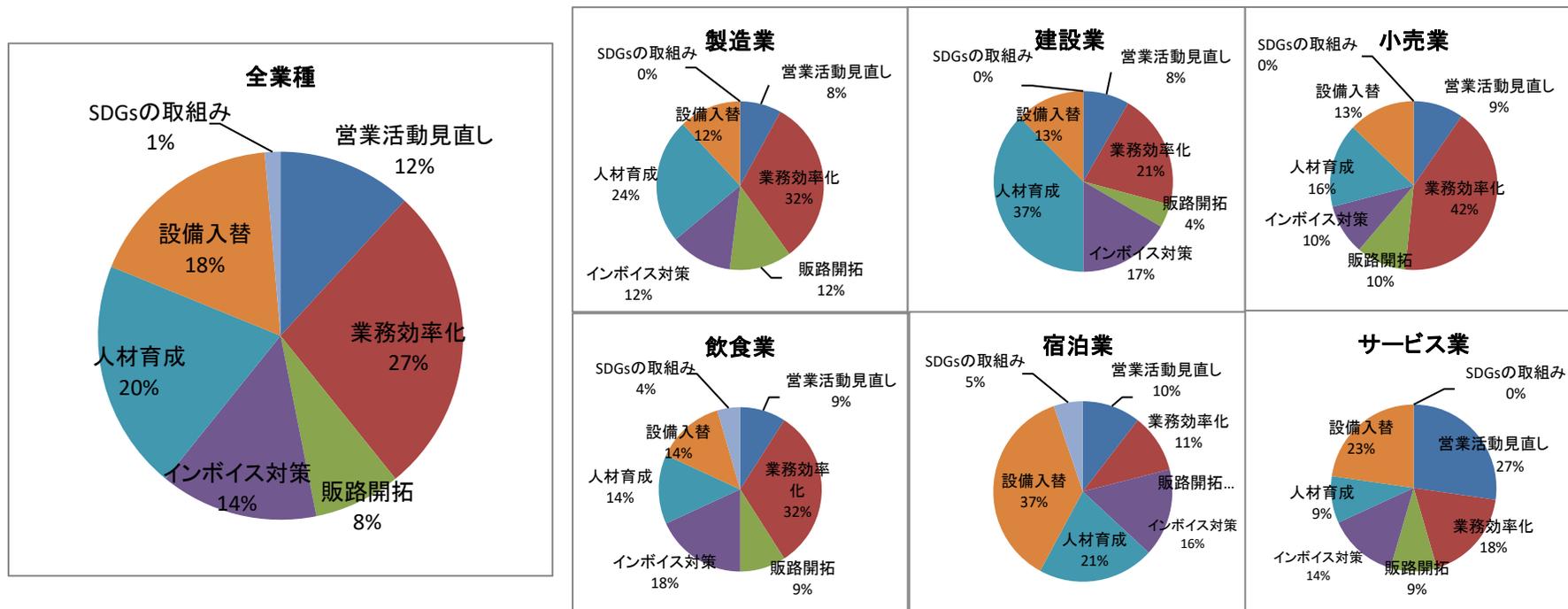
（飲食業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が63.6%となり、8期連続で最も多く、全業種においても最も高い割合となった（対前期比では9.1ポイント減）

（宿泊業）「仕入単価（原材料）の上昇、販売受注単価の低下」が47.4%と、7期連続で最も多い。（対前期比変化なし。）

次いで「必要な人材の雇用確保」が5.3ポイント減の26.3%、「事業資金の借入難」が5.3ポイント増の5.3%となった。

（サービス業）「消費者ニーズ変化への対応」が42.9%の割合となった。（対前期比12.9ポイント増）

【6】 今後、取り組んでいきたいこと



今期 (R5.7~9)

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	件数	比率	件数	比率											
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	17	11.9%	2	8.0%	2	8.3%	3	9.7%	2	9.5%	2	11.1%	6	27.3%	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	39	27.3%	8	32.0%	5	20.8%	13	41.9%	7	33.3%	2	11.1%	4	18.2%	業務効率化
販路開拓 (商談会・展示会・プレスリリース等)	11	7.7%	3	12.0%	1	4.2%	3	9.7%	2	9.5%	0	0.0%	2	9.1%	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	20	14.0%	3	12.0%	4	16.7%	3	9.7%	4	19.0%	3	16.7%	3	13.6%	インボイス対策
人材育成、社員教育	29	20.3%	6	24.0%	9	37.5%	5	16.1%	3	14.3%	4	22.2%	2	9.1%	人材育成
設備の入替・更新	25	17.5%	3	12.0%	3	12.5%	4	12.9%	3	14.3%	7	38.9%	5	22.7%	設備入替
SDGsの取組み、推進宣言事業の登録等	2	1.4%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	4.8%	1	5.6%	0	0.0%	SDGsの取組み
合計	143		25		24		31		21		18		22		

対前期比（R5.4～6）

⑧今後、取り組んでいきたいこと	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業		
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	
既存顧客のリスト化、営業活動の見直し	11.9%	0.0	3.7%	4.3	12.5%	-4.2	20.0%	-10.3	14.3%	-4.8	0.0%	11.1	19.0%	8.3	営業活動見直し
業務の効率化、仕事の見える化	28.7%	-1.4	37.0%	-5.0	8.3%	12.5	33.3%	8.6	38.1%	-4.8	11.1%	0.0	42.9%	-24.7	業務効率化
販路開拓（商談会・展示会・プレスリリース等）	11.9%	-4.2	14.8%	-2.8	12.5%	-8.3	13.3%	-3.6	9.5%	0.0	11.1%	-11.1	9.5%	-0.4	販路開拓
インボイス制度対策、会計管理の見直し	11.9%	2.1	7.4%	4.6	20.8%	-4.1	10.0%	-0.3	19.0%	0.0	16.7%	0.0	0.0%	13.6	インボイス対策
人材育成、社員教育	20.3%	0.0	29.6%	-5.6	37.5%	0.0	13.3%	2.8	4.8%	9.5	16.7%	5.5	19.0%	-9.9	人材育成
設備の入替・更新	14.0%	3.5	7.4%	4.6	8.3%	4.2	10.0%	2.9	14.3%	0.0	44.4%	-5.5	9.5%	13.2	設備入替
SDGsの取組み、推進宣言事業の登録等	1.4%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	0.0%	0.0	4.8%	0.0	5.6%	0.0	0.0%	0.0	SDGsの取組み

【実績】

経営者が「今後、取り組んでいきたいこと」として全業種では、「業務の効率化、仕事の見える化」が27.3%（対前期比1.4ポイント減）で最も多い割合となった。次いで「人材育成、社員教育」が20.3%、全項目において対前期比では大幅な変化はない。

（製造業）「業務の効率化、仕事の見える化」が32.0%と最も多い割合となった。（対前期比5.0ポイント減）
次いで「人材育成、社員教育」が24.0%となった。（対前期比5.6ポイント減）

（建設業）「人材育成、社員教育」が37.5%と前期に続き最も多い割合となった。（対前期比変化無し）
次いで「業務の効率化、見える化」は20.8%となり、対前期比では12.5ポイント増加した。

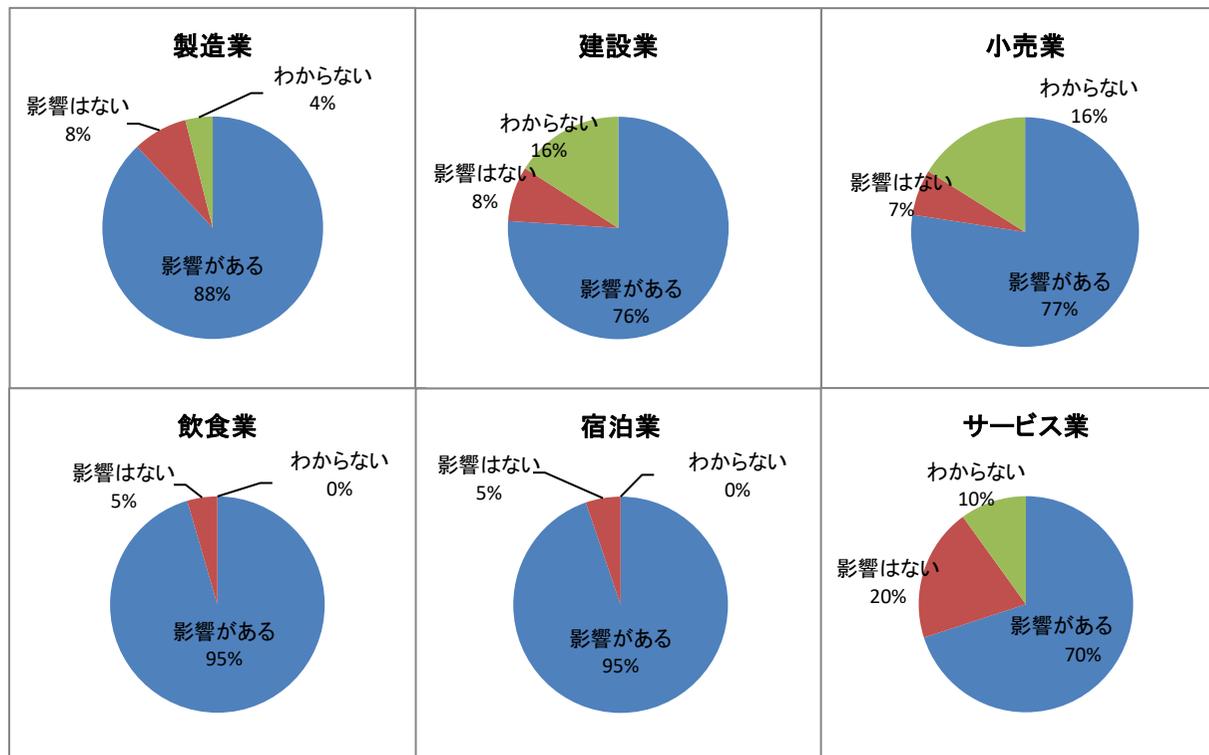
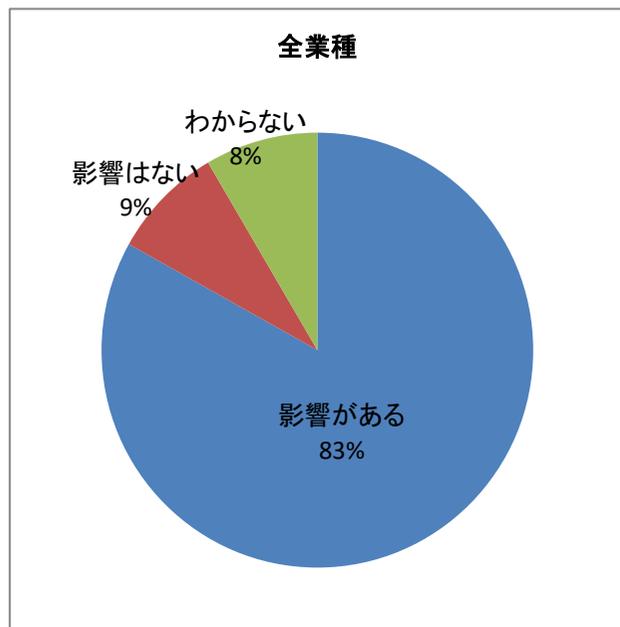
（小売業）「業務の効率化、仕事の見える化」が41.9%と最も多い割合となった。（対前期比8.6ポイント増）
次いで、「人材育成、社員教育」が16.1%となった。（対前期比2.8ポイント増）

（飲食業）「業務の効率化、仕事の見える化」が33.3%と前期に続き最も多い割合となった。（対前期比4.8ポイント減）
次いで、「インボイス制度対策、会計管理の見直し」が19.0%となった。

（宿泊業）「設備の入替・更新」が38.9%と前期に続き最も多い割合となった。（対前期比5.5ポイント減）
次いで「人材育成、社員教育」が22.2%となった。（対前期比5.5ポイント増）

（サービス業）「業務の効率化、仕事の見える化」が24.7ポイント減の18.2%となった。
一方で、「既存顧客のリスト化、営業活動の見直し」が8.3ポイント増の27.3%、「設備の入替・更新」が13.2ポイント増の22.7%となった。

【7】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰の影響はありますか？



今期 (R 5. 7 ~ 9)

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	件数	比率	件数	比率										
影響がある	118	83.1%	22	88.0%	19	76.0%	24	77.4%	21	95.5%	18	94.7%	14	70.0%
影響はない	12	8.5%	2	8.0%	2	8.0%	2	6.5%	1	4.5%	1	5.3%	4	20.0%
わからない	12	8.5%	1	4.0%	4	16.0%	5	16.1%	0	0.0%	0	0.0%	2	10.0%
合計	142		25		25		31		22		19		20	

影響がある
影響はない
わからない

対前期比（R5.4～6）

⑨原材料の不足や高騰の影響はありますか？	全業種		製造業		建設業		小売業		飲食業		宿泊業		サービス業	
	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減	前期比率	前期増減
影響がある	85.3%	-2.2	88.9%	-0.9	66.7%	9.3	93.3%	-15.9	95.5%	0.0	100.0%	-5.3	66.7%	3.3
影響はない	5.6%	2.9	3.7%	4.3	12.5%	-4.5	0.0%	6.5	0.0%	4.5	0.0%	5.3	19.0%	1.0
わからない	9.1%	-0.6	7.4%	-3.4	20.8%	-4.8	6.7%	9.4	4.5%	-4.5	0.0%	0.0	14.3%	-4.3

【実績】

「影響がある」と回答した経営者の割合は、全業種で83.1%と大半を占めており、「製造業」「飲食業」「宿泊業」においても90%前後の割合で影響があると回答した。（対前期比2.2ポイント減）

（製造業）「影響がある」と回答した経営者は、88.0%であった。（対前期比0.9ポイント減）

（建設業）「影響がある」と回答した経営者は、76.0%であった。（対前期比9.3ポイント増）

（小売業）「影響がある」と回答した経営者は、77.4%であった。（対前期比15.9ポイント減）

（飲食業）「影響がある」と回答した経営者は、95.5%であった。（対前期比変化無し）
全業種の中、で一番多く「影響がある」と指摘する経営者の割合が高い。

（宿泊業）「影響がある」と回答した経営者は、94.7%であった。（対前期比5.3ポイント減）

（サービス業）「影響がある」と回答した経営者は、70.0%であった。（対前期比3.3ポイント増）

【8】 自社の主な商品・サービスにおいて原材料の不足や高騰について、影響の有無に関わらず、前回調査時と比較したときの状況の変化。
 (参考：ポストコロナ、原油価格・物価高騰、円安による影響、ゼロゼロ融資の状況、インボイスの状況等)

1	為替相場の円安へ進行するに伴い、材料の価格が年々上昇している。(製造業・日高)
2	仕入れコスト上昇対応と販売価格への転嫁が課題(製造業・日高)
3	原油価格(建設業・日高)
4	メーカーが商品アイテムを減らす方向(いろいろな分野からの撤退)商品仕入条件のハードルが上がる(フランチャイズとまではいかないが直営店契約などが必要)(製造業・日高)
5	見積もり、入札時の物価と実際仕入れときの価格に誤差が生じている状況が2年以上継続している。原因は設問の参考項目による。いつまでこのような状況が続くのか、先の見通しが出来にくい。(建設業・竹野)
6	原材料費の高騰(飲食業・城崎)
7	インボイス制度の対応を非常に難儀している。原材料高騰の変動が、採算性の見通しに大変不安である。(宿泊業・城崎)
8	猛暑と台風等の自然災害には勝てません。かろうじて撤退店のおかげで前年はクリアしました。夏場は売り上げが下がる一方経費は上昇。毎年悩みが付きない季節です早く冬が来ないかな。(小売業・出石)
9	仕入れが値上がりしています(飲食業・出石)
10	物価高騰による仕入れの上昇(サービス業・出石)
11	原材料、最低賃金、あらゆるものが増加していく中、高齢化により、従来のような年輩のかたに働いていただくことも困難になってゆき、新たに若い世代を短期間で回していくようなフレキシブルな働き方をしていかななくてはいけないフェイズです。新たなお店もチラホラみられますし、同業の連携も繋がりもより一層必要になってきます。(宿泊業・日高)

12	光熱費、原材料、人件費など全て値上がり、増税と事業主には辛い事だらけ。コロナで今まで以上に費用もかかる。このままでは中小企業はどんどん潰れていくと思う。（小売業・城崎）
13	ガソリン代が高くなった。（小売業・城崎）
14	仕入れ価格の上昇や光熱費等の上昇等、物価高騰の影響大きく、昨年商品価格を上げたが追い付かない状態。（飲食業・城崎）
15	外国人の観光客が昨年よりは増えてきた。コロナ前までには回復していないありがたいことである。（飲食業・城崎）
16	コロナも5類になり、お客さまも動き出しているので期待していきたい。（宿泊業・竹野）
17	物価高騰（小売業・城崎）（飲食業・城崎）（飲食業・出石）
18	仕入れ、原材料、包材などの高騰。燃料費の高騰も観光客入込に影響している（サービス業・出石）
19	天候不良により山芋の価格が上昇、また、製品の品質も悪いものが増えてきた（原材料の高騰）また、雨が降らなかったため、ねぎの発育が悪く、地元業者が生産を止めてしまって困惑している。（飲食業・出石）
20	原油価格・物価高騰により経営がまともにできなくなっている（製造業・但東）
21	ガソリン代、灯油代や電気代など影響あり（サービス業・但東）
22	物価高騰により、消費者は、より安いところを探し、なおかつ買い控えもあるので、一般小売店は、打つ手がない。（小売業・但東）
23	円安が最も大きな影響があります。1ドル145円前後で推移していますが、去年はもう少し円高でしたので。（製造業・日高）
24	送料の高騰、原材料の値上げ（小売業・日高）
25	原油価格・物価高騰、円安による影響（製造業・日高）
26	電気、燃料、物価の値上げ（サービス業・日高）
27	円高、ユーロの高騰（建設業・日高）
28	燃料や物価の高騰に歯止めがかからない。いつまで続くのか不安です。（宿泊業・日高）

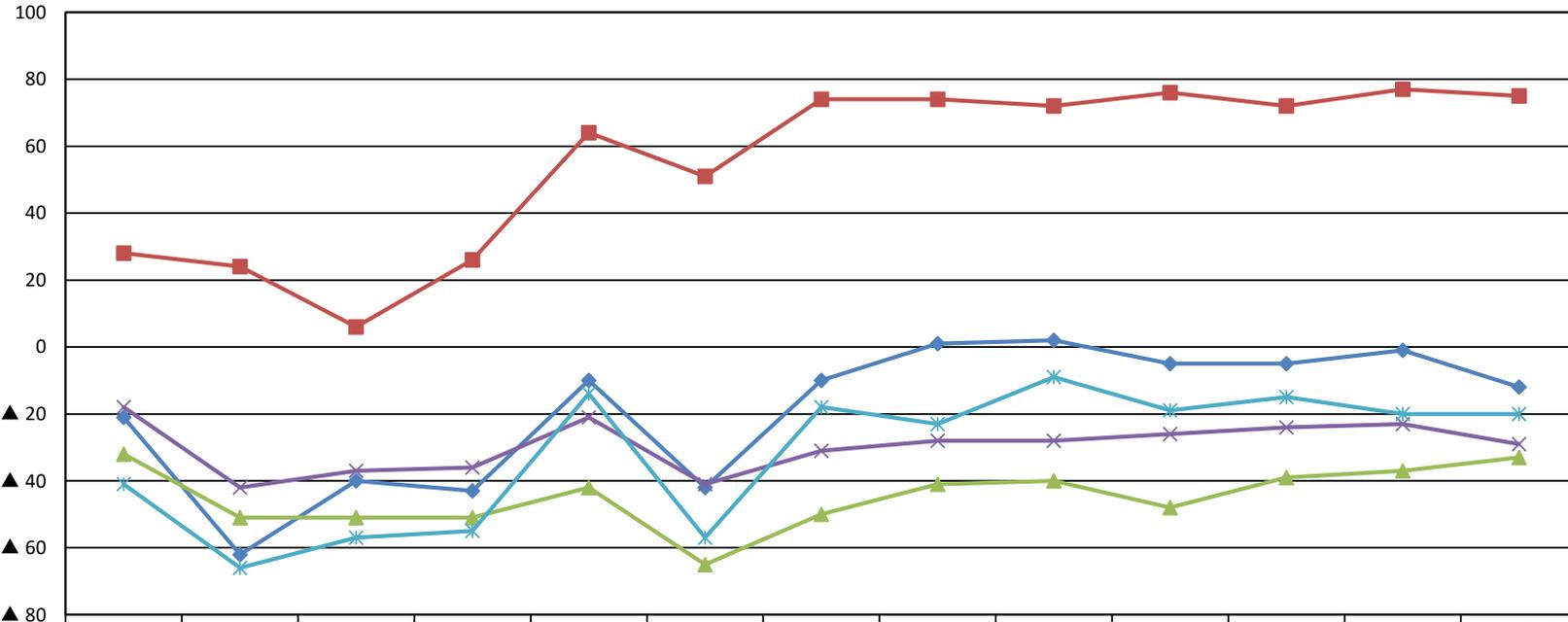
29	光熱費の高騰が最も影響します。（宿泊業・日高）
30	コロナ禍における需要時期が去り、危険な気象状況（酷暑）の為、外出を控える家庭が多くなった。お盆の台風直撃で3日間の休業。物価高騰、燃料費（灯油・ガソリン）の影響が大きい（サービス業・日高）
31	原材料価格や電気代の高騰。（製造業・出石）
32	依然として物価高騰による見積金額高騰により、受注が難しくなっている。（建設業・但東）
33	ガソリン価格が高くなった（小売業・出石）
34	人材不足、仕入・水道光熱費高騰、賃金上昇の三大苦（飲食業・城崎）
35	材料・燃料の高騰（サービス業・日高）
36	原材料が全て値上がり。価格転嫁してもしても追いつかず果たしてこれで採算取れてるの？とわからなくなるくらいの値段変更回数。電気代、最低賃金も10月から上がり、どれだけ転嫁すれば良いかわからなくなってきました。（小売業・日高）
37	仕入のみに関わらず人件費他経費全般が増えている。（小売業・出石）
38	円安、原油価格の高騰（製造業・日高）
39	光熱費や仕入れ価格の上昇（飲食業・日高）
40	お客様の高齢化が進み、住宅にかけられる予算が低下している中で、資材の高騰や原油高の分が人件費で調整している所がある（建設業・日高）
41	物価の上昇（宿泊業・日高）
42	材料の値上げがどんどん増えていって厳しい（製造業・出石）

【9】自由コメント

1	前回同様コロナは変わるも原油高に象徴される原材料の高騰にはメドが立ってない。あわせて北欧情勢も変わらずで羽毛の原料に関して今冬はどのような動きがあるのか戦々恐々としたところである。（小売業・日高）
2	盆15日の台風の影響により8月の売上に大きく影響を受けた。（飲食業・出石）
3	少しは期待していたはばタンPayは、不発に終わりそうなので、是非豊岡市プレミアム商品券の発行を商工会として協力を推し進めてください。（小売業・但東）
4	夏の異常な暑さも新たなリスクになってきているので、来年はどうか？というのが今から気になります。今年の傾向を見ると豊岡も40℃を超えてしまいそうです…。（製造業・日高）
5	請求書・領収書に登録番号のはんこを押すのが大変です。インボイス制度の必要性に疑問を感じております。（飲食業・日高）
6	この世界から『コスパ最強！』とか『採算ど返し』とか『売り切れごめんの早い者勝ち』という売り文句が消える日はそう遠くないと思います。この三年で60円以上最低賃金が上がり、新しく入ったアルバイトさんと長く勤めてくれているアルバイトさんの給料に差が作れないのは本当に申し訳ない。（小売業・日高）

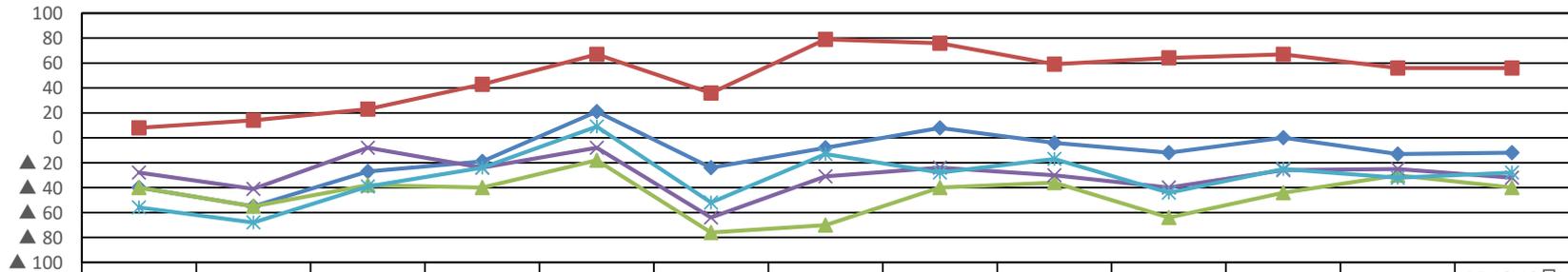
豊岡市商工会管内における3年間の景気動向調査結果

全業種DI推移



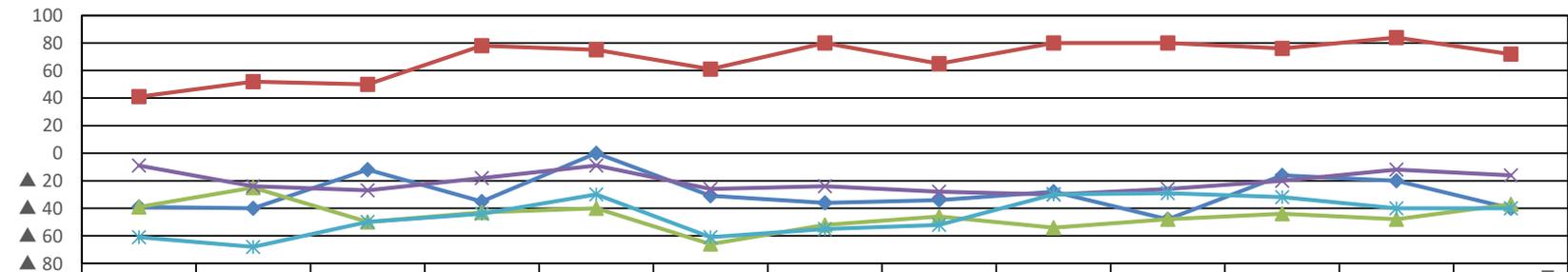
	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12 見込み
売上高	▲ 21	▲ 62	▲ 40	▲ 43	▲ 10	▲ 42	▲ 10	1	2	▲ 5	▲ 5	▲ 1	▲ 12
仕入単価	28	24	6	26	64	51	74	74	72	76	72	77	75
採算性	▲ 32	▲ 51	▲ 51	▲ 51	▲ 42	▲ 65	▲ 50	▲ 41	▲ 40	▲ 48	▲ 39	▲ 37	▲ 33
資金繰り	▲ 18	▲ 42	▲ 37	▲ 36	▲ 21	▲ 41	▲ 31	▲ 28	▲ 28	▲ 26	▲ 24	▲ 23	▲ 29
景況感	▲ 41	▲ 66	▲ 57	▲ 55	▲ 14	▲ 57	▲ 18	▲ 23	▲ 9	▲ 19	▲ 15	▲ 20	▲ 20

製造業DI推移



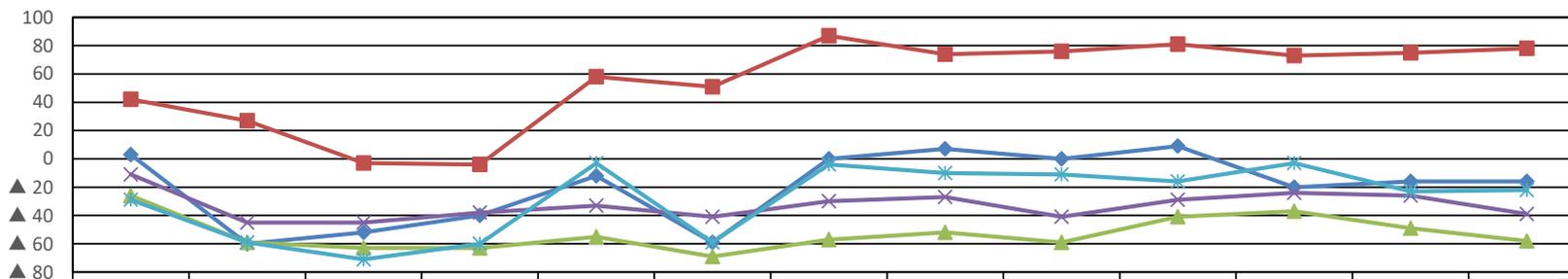
	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12見込み
● 売上高	▲ 40	▲ 55	▲ 27	▲ 19	21	-24	-8	8	▲ 4	▲ 12	0	▲ 13	▲ 12
■ 仕入単価	8	14	23	43	67	36	79	76	59	64	67	56	56
▲ 採算性	▲ 40	▲ 55	▲ 38	▲ 40	▲ 18	▲ 76	▲ 70	▲ 40	▲ 36	▲ 64	▲ 44	▲ 30	▲ 40
× 資金繰り	▲ 28	▲ 41	▲ 8	▲ 24	▲ 8	▲ 64	▲ 31	▲ 24	▲ 30	▲ 40	▲ 26	▲ 25	▲ 32
* 景況感	▲ 56	▲ 68	▲ 39	▲ 24	9	▲ 52	▲ 13	▲ 28	▲ 17	▲ 44	▲ 25	▲ 32	▲ 28

建設業DI推移



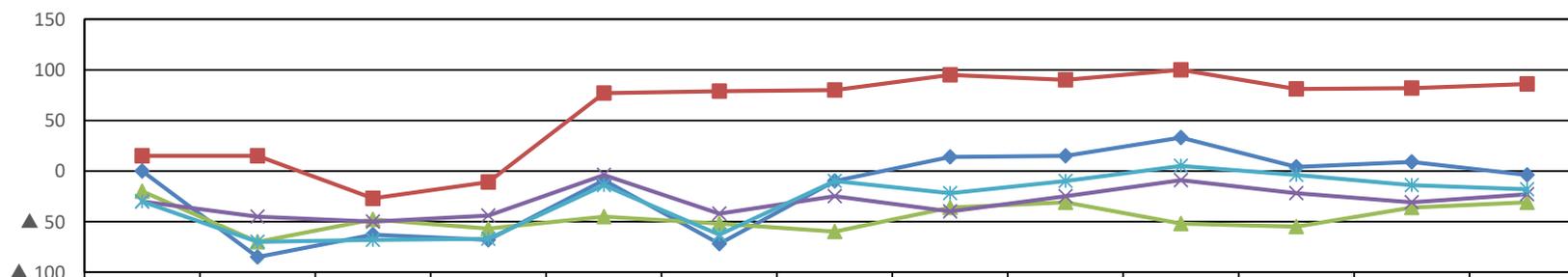
	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12見込み
● 売上高	▲ 39	▲ 40	▲ 12	▲ 35	0	▲ 31	▲ 36	▲ 34	▲ 28	▲ 48	▲ 16	▲ 20	▲ 40
■ 仕入単価	41	52	50	78	75	61	80	65	80	80	76	84	72
▲ 採算性	▲ 39	▲ 25	▲ 50	▲ 43	▲ 40	▲ 66	▲ 52	▲ 46	▲ 54	▲ 48	▲ 44	▲ 48	▲ 37
× 資金繰り	▲ 9	▲ 24	▲ 27	▲ 18	▲ 9	▲ 26	▲ 24	▲ 28	▲ 30	▲ 26	▲ 20	▲ 12	▲ 16
* 景況感	▲ 61	▲ 68	▲ 50	▲ 44	▲ 30	▲ 61	▲ 55	▲ 52	▲ 30	▲ 29	▲ 32	▲ 40	▲ 40

小売業DI推移



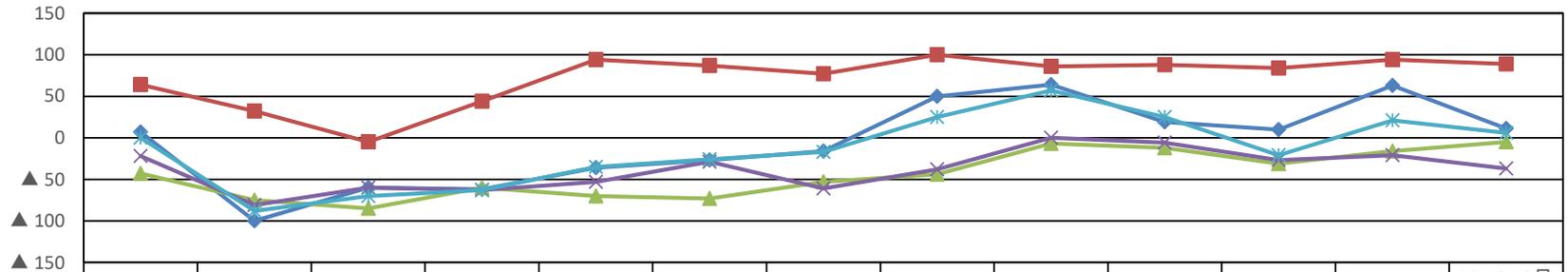
	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12見込み
● 売上高	3	▲ 60	▲ 52	▲ 40	▲ 12	▲ 59	0	7	0	9	▲ 20	▲ 16	▲ 16
■ 仕入単価	42	27	▲ 3	▲ 4	58	51	87	74	76	81	73	75	78
▲ 採算性	▲ 26	▲ 59	▲ 63	▲ 63	▲ 55	▲ 69	▲ 57	▲ 52	▲ 59	▲ 41	▲ 37	▲ 49	▲ 58
× 資金繰り	▲ 11	▲ 45	▲ 45	▲ 38	▲ 33	▲ 41	▲ 30	▲ 27	▲ 41	▲ 29	▲ 24	▲ 26	▲ 39
✧ 景況感	▲ 29	▲ 59	▲ 71	▲ 60	▲ 3	▲ 59	▲ 4	▲ 10	▲ 11	▲ 16	▲ 3	▲ 23	▲ 22

飲食業DI推移



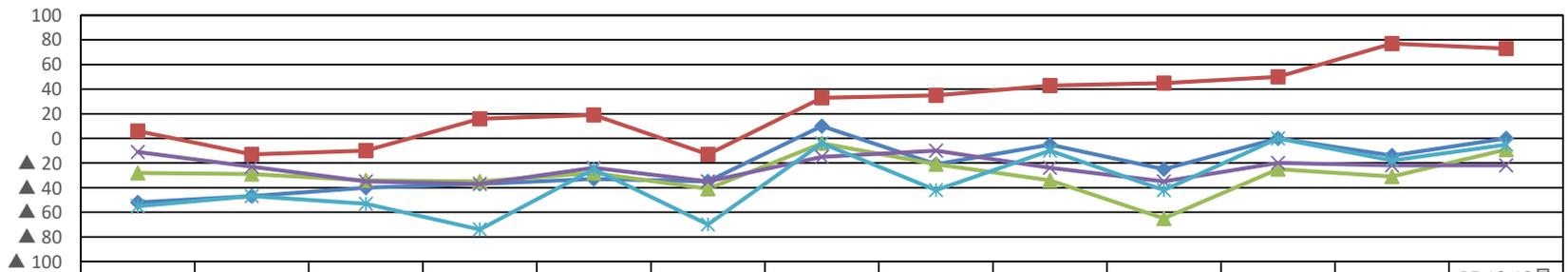
	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12見込み
● 売上高	0	▲ 85	▲ 63	▲ 68	▲ 9	▲ 72	▲ 10	14	15	33	4	9	▲ 4
■ 仕入単価	15	15	▲ 27	▲ 11	77	79	80	95	90	100	81	82	86
▲ 採算性	▲ 20	▲ 70	▲ 48	▲ 57	▲ 45	▲ 52	▲ 60	▲ 36	▲ 31	▲ 52	▲ 55	▲ 36	▲ 31
× 資金繰り	▲ 30	▲ 45	▲ 50	▲ 44	▲ 4	▲ 42	▲ 25	▲ 40	▲ 25	▲ 9	▲ 22	▲ 31	▲ 23
✧ 景況感	▲ 30	▲ 70	▲ 68	▲ 67	▲ 14	▲ 63	▲ 10	▲ 22	▲ 10	5	▲ 4	▲ 14	▲ 18

宿泊業DI推移



	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12見込み
● 売上高	7	▲ 100	▲ 60	▲ 62	▲ 36	▲ 27	▲ 16	50	64	19	10	63	11
■ 仕入単価	64	32	▲ 5	44	94	87	77	100	86	88	84	94	89
▲ 採算性	▲ 43	▲ 75	▲ 85	▲ 60	▲ 70	▲ 73	▲ 53	▲ 44	▲ 7	▲ 12	▲ 31	▲ 16	▲ 5
× 資金繰り	▲ 22	▲ 81	▲ 60	▲ 63	▲ 53	▲ 29	▲ 61	▲ 38	0	▲ 6	▲ 27	▲ 21	▲ 37
※ 景況感	0	▲ 88	▲ 70	▲ 63	▲ 35	▲ 26	▲ 17	25	57	25	▲ 21	21	6

サービス業DI推移



	R2.10-12	R3.1-3	R3.4-6	R3.7-9	R3.10-12	R4.1-3	R4.4-6	R4.7-9	R4.10-12	R5.1-3	R5.4-6	R5.7-9	R5.10-12見込み
● 売上高	▲ 52	▲ 47	▲ 40	▲ 37	▲ 33	▲ 35	10	▲ 21	▲ 5	▲ 25	0	▲ 14	0
■ 仕入単価	6	▲ 13	▲ 10	16	19	▲ 13	33	35	43	45	50	77	73
▲ 採算性	▲ 28	▲ 29	▲ 34	▲ 35	▲ 28	▲ 41	▲ 4	▲ 21	▲ 34	▲ 65	▲ 25	▲ 31	▲ 9
× 資金繰り	▲ 11	▲ 23	▲ 35	▲ 37	▲ 24	▲ 35	▲ 15	▲ 10	▲ 24	▲ 35	▲ 20	▲ 22	▲ 22
※ 景況感	▲ 55	▲ 47	▲ 53	▲ 74	▲ 25	▲ 70	▲ 4	▲ 42	▲ 10	▲ 42	0	▲ 18	▲ 5